

臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

| | |
|--------------------|---|
| 開催日時 | 令和 3 年 5 月 26 日（水） 18:08～18:42 |
| 開催場所 | 茨城県立中央病院 研修棟 A |
| 出席委員名 | 小島寛、清嶋護之、小林弘明、武安法之、三橋彰一、荒木眞裕、増田淳之、松村哲也、鈴木美加、野上達也、角智美、多川英久雄、村上りつ子 |
| 課題及び審議結果を含む主な議論の概要 | <p>継続試験 中外製薬株式会社の依頼による</p> <p>議題① 「非小細胞肺癌患者を対象とした MPDL3280A の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題② 小野薬品工業株式会社の依頼による 「ONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第 III 相試験」 治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題③ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による 「未治療の多発性骨髄腫患者を対象とした BMS-901608 の国内第 2 相臨床試験」 海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題④ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による 「elotuzumab の第 II 相試験」 治験に関する変更について審議した。</p> <p>審議結果： 承認</p> <p>議題⑤ MSD 株式会社の依頼による 「進行性胃腺癌又は食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第 III 相臨床試験」 治験に関する変更について審議した。</p> |

審議結果： 承認

議題⑥

MSD 株式会社の依頼による

「進行性又は転移性食道癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑦

MSD 株式会社の依頼による

「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑧

MSD 株式会社の依頼による

「MK-3475 第 II 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑨

MSD 株式会社の依頼による

「胃癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑩

MSD 株式会社の依頼による

「胃癌（HER2 陰性）を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑪

EAファーマ株式会社の依頼による

「AJM300 の活動期潰瘍性大腸炎患者を対象とした第 III 相臨床試験（2）」

治験継続の可否について審議した。

審議結果： 承認

議題⑫

日本イーライリリー株式会社の依頼による

「クローン病患者を対象とした LY3074828 の第 III 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑬

日本イーライリリー株式会社の依頼による

「クローン病患者を対象とした LY3074828 の第 III 相試験-②」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑭

バイエル薬品株式会社の依頼による

「血液透析中の末期腎不全患者における血栓性事象の予防を目的として BAY 2976217 (血液凝固第 XI 因子 LICA) を反復投与した際の安全性、薬物動態及び薬力学を検討する第 II 相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験」

治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認